

# 時事問題模擬試験

## 択一問題

問3

最近の経済分野の出来事に関する次の記述で、誤っているのはどれか。

- ①総務省が2月5日に発表した2020年の家計調査によると、1世帯（2人以上）あたりの消費支出は月平均で27万7926円となり、物価変動の影響を除いた実質で前年比5.3%増えた。所得環境の悪化で、貯金を増やす傾向が強まっている。
- ②財務省が2月8日に発表した2020年の国際収支統計（速報）によると、日本と海外とのモノやサービスの取引や投資収益の状況を示す経常収支の黒字は前年比13.8%減の17兆6976億円で、2年ぶりに黒字幅が縮小した。
- ③政府は2月19日に公表した2月の月例経済報告で、国内景気の基調判断を2020年4月以来10カ月ぶりに引き下げ、「持ち直しの動きが続いているものの、一部に弱さがみられる」との見方を示した。
- ④農林水産省が2月5日に発表した2020年の農林水産物・食品の輸出額（速報値）は、前年から1.1%増の9223億円となり、8年連続過去最高を更新した。

問5

最近の社会分野の出来事に関する次の記述で、誤っているのはどれか。

- ①2020年に全国の警察が認知した刑法犯は61万4303件で、前年を17.9%下回り戦後最少を更新したことが警察庁の統計（暫定値）で明らかとなった。ひったくりなど街頭犯罪が大幅に減少した。
- ②2020年に虐待の疑いで警察が児童相談所（児相）に通告した18歳未満の子どもは10万6960人と前年比8.9%増え、統計のある04年以降初めて10万人を超えた。
- ③厚生労働省が2月22日に発表した人口動態統計速報によると、2020年の出生数（速報値）は87万2683人で、前年比で2万5917人減少し、1899年の統計開始以来、過去2番目に少なかった。
- ④米航空宇宙局（NASA）の無人探査車「パーシビアランス」（全長3メートル、幅2.7メートル、重さ1トン）が2月18日午後（日本時間19日早朝）、火星の「ジェゼロ・クレーター」に着陸した。火星に生命が存在した痕跡の発見を目指す。

解答とメモ欄

問3

- ① 前年比5.3%増えた→前年比5.3%減った  
(96, 97, 99, 105-106頁)

問5

- ③ 過去2番目に少なかった→過去最低となった  
(121, 126-127, 150頁)

# 時事問題模擬試験

## 短答式問題

◆短答式問題の問1～問15は今月号に掲載された記事を中心とした問題です。文中〔 〕内に適当な語句・数字を入れる問題と〔 〕内から正しいものを選ぶ問題で構成されています。解答末尾の頁は、関係する記事が掲載されている箇所を示します。

問2 2020年前半の米国民の平均寿命は、〔 ① 〕の影響などにより前年比で〔 ② 〕歳、黒人では2.7歳短くなったことが米疾病対策センター(CDC)の報告書で分かった。

問5 「〔 ① 〕構想」とは、社会のデジタル化が進展するなか、子どもたちが〔 ② 〕を使って一人ひとり学べる環境を整えるために文部科学省が2019年に打ち出した計画である。

問10 2月15日の〔 ① 〕の終値は、前週末比564円08銭高の〔 ② 〕万0084円15銭で、1990年8月以来、約30年6カ月ぶりに〔 ② 〕万円超となった。同日公表された国内総生産(GDP)が市場の事前予想より良く、コロナ禍からの経済回復への期待が高まったことが影響した。

問13 2月13日午後11時7分ごろ、〔 ① 〕や宮城県で震度②〔ア. 6強 イ. 7〕を観測する地震があった。地震の規模を表すマグニチュード(M)は7.3と推定され、2011年3月に発生した東日本大震災(M9.0)の余震とみられる。

問15 復興庁によると、〔 ① 〕事故の避難区域に帰還する人向けの住宅を除き、岩手や宮城など8県で計画された②〔ア. 2万9654戸 イ. 3万5073戸〕の〔 ③ 〕がすべて完成し、2月11日までに入居が可能となった。用地確保などが難航し、すべての完成に10年近くかかった。

## 解答とメモ欄

問2  
①新型コロナウイルス ②1(9頁)

問5  
①GIGA<sup>キガ</sup>スクール ②情報端末  
(11頁)

問10  
①日経平均株価 ②3(36-40頁)

問13  
①福島県 ②ア(52-53頁)

問15  
①東京電力福島第一原発  
②ア ③災害公営住宅(62頁)